

病院だより

☎ 市民病院医事課

☎ 43-2511(代表)

動脈硬化外来の開設

◎生活習慣病による動脈硬化の増加

近年、生活習慣の変化により、糖尿病や高血圧症、高脂血症などの生活習慣病になる方が増えています。

これらの病気が原因となって引き起こされるのが動脈硬化です。さらに動脈硬化は、日本人の死因の約3割を占める脳梗塞や心筋梗塞なども引き起こします。

◎閉塞性動脈硬化症にご用心

特に、下肢動脈に動脈硬化を起す閉塞性動脈硬化症は、食生活の欧米化に伴い増加し、70歳以上の方では、約30%に認められるとも報告されています。

初期症状としては、足の冷感やしびれ、歩行時の足の痛みなどがありますが、適切な診断と治療を行うことで、予後を良好に過ごすことが出来ます。重症化すると足潰瘍、壊死と進行し、下肢切断に至ることもあります。

また、閉塞性動脈硬化症には、狭心症や脳梗塞などの合併症が非常に多いことも分かっています。

◎動脈硬化外来を開設しました

市民病院では8月から、「動脈硬化外来」を開設しています。

循環器科医師が中心となり、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症などの動脈硬化疾患の予防、検査、治療を行います。

胸部や下肢に症状のある方、症状はなくても糖尿病や高血圧症、高脂血症を指摘されている方、喫煙されている方などは、特に受診をお勧めします。



「動脈硬化外来」

診療日 毎週金曜日 午後1時～3時

担当 循環器科医師

◇診療は予約制です。事前に電話で希望日をお知らせください。紹介状は不要です。

☎ 医事課医事係

☎ 43-2511 (代表)



レッツ・エンジョイ
Let's Enjoy
エコ ライフ
EcoLife

～レジ袋有料化実施状況～

☎ 環境政策課環境衛生係 ☎ 44-3115

レジ袋有料化の効果

私たちが使うレジ袋は、1年間で約305億枚と推計されています。これは、国民1人当たりでは年間約300枚、市全体では約2,100万枚になります。

レジ袋が1枚減れば、二酸化炭素排出量が57g削減されるといいますので、市全体のマイバッグ率が86%まで上がれば、年間約1,030トンの二酸化炭素削減の効果があったこととなります。

また、レジ袋はそのほとんどがごみとして捨てられているため、1枚10gで換算すると、市全体で年間約180トンのごみ削減につながります。

マイバッグを携帯しよう

マイバッグには、折りたたんで持ち歩けるコンパクトなものや精算時に買い物かごに広げて使うもの、精算が済んだ商品を買ったものごとく持ち帰るものなど、様々な種類があります。

家族の人数や生活スタイルに合わせて、利用しやすいものを選びましょう。また、出掛けた先で急に買い物をする際にも1つ置いておくことで便利です。

マイバッグでの買い物マナー

マイバッグで買い物をする時は、コンパクトなバッグはレジで出す、大きなバッグは最初にかごに入れておくなど、お店の人に誤解を与えないようなマナーを心掛けましょう。

レジ袋有料化で、マイバッグ持参率上昇
地球温暖化防止とごみ減量化のため、レジ袋を削減するマイバッグ運動。その取り組みの1つとして、運動に賛同する市内の各スーパーでは、今年5月から順次レジ袋の有料化を始め、現在までに14店舗が有料化しています。
レジ袋を有料化した14店舗でマイバッグ持参率を調査したところ、結果は86%にのぼりました(市マイバッグ100推進協議会調べ)。

